



第34号平成20年4月26日  
作成者 池部 徹  
…葬儀の練習…

ある住職が模擬葬儀というのをされているそうで、とても興味を持ちました。本物の棺に入って、花を添え、お経を上げ、合掌し、最後に棺のフタを閉じるところまで徹底するそうです。終わって住職が「最後はどんな気分でしたか？」と問われ「極楽に行った気分でした！」とジョークを言う方もいるとか・・・。

“死”はいつやってくるか解りませんよね。と言うと若い方からは怒られそうですが・・・しかし、いつかは来ることですので“死に方”を考えていた方がいいと3つのアドバイスをされていました。

- 一、どこで亡くなりたいか？
- 二、誰がそばにいてほしいか？
- 三、最後どんな風にお別れしたいか？



本当に大切な事だと痛感しました。なんとなく、これまでの人生を振り返ってみたり・・・考えさせられました。

私は、この話のポイントを“準備”と捉えました。

- 一、まず自分が元気な時に考えておかなければならないこと。
- 二、家族や友人・知人とのコミュニケーションが上手く出来ていないと現実化できないこと。
- 三、自分の“生きざま”が問われてしまうこと。 以上